

ひろば大代

NO.215

大代公民館

父の日母の日特集
めぐり来る「父の日」

下市 渡 綾子

「一天に古への月今日の月」活刀
温泉津町湯里の法久寺に地元「白桃句会」有志の方々が建立して下さいた父の句碑があります。

父は志を立て苦学して医師の免許を取り、黒松で開業、後に京都に移り生涯を終えました。父は本当に努力の人で成せば成るの精神を貫いた人だったと思います。

私が小学校二・三年頃だったでしょうか。叔父（弟）が先に医学博士号を取り、それに刺激されたのか自分も博士号を取ると言って母を驚かせた様です。間もなく京大研究所へ通い始め、研究を重ねて何年かかったか覚えていませんが「骨」の研究で遂に博士号を取りお祝いしたのを覚えてます。郷里にいた頃から俳句を作り始めて

京都に移り住んでからも高浜虚子先生の「ホトトギス」誌に投句、同人となり熱心に句作りをしておりました。

毎日自宅で俳句会があり、俳句関係の方や学生さん、又「げてもの」収集家でもあったので其の関係の方々など、毎日訪問客の無い日は殆ど無しで両親共いつも快くお客様に接しておりました。私が俳句を作る様になったのも自然の成り行きだったのでしようか。

戦後世の中も落ち着き、父は私と下の妹をよく方々へ連れて行ってくれました。嵐山の炬燵舟、高雄の紅葉、宇治の里、七夕会の蹴鞠等楽しい憶い出を沢山与えてくれました。

其の間俳句の作り方等別に教えてくれた訳ではありませんが、誰にでも分かる俳句、忙しいから作れない、閑だから作れるものではない、集中力等私なりに学んだ気が致します。不勉強な私はこの年になってもまだまだ父の域に達するのは遠い遠い先できつと届く事は出来ないと思いますが、今後も楽しみながら句作りをしていきたいと思えます。

「父の日」も近づきあの頃は本当に

楽しく幸せだった、と改めて感謝し、偉大だった父を偲ぶこの頃です。

母の思い出

平 武田 勇



私の母は、大正九年二十九才で夫を病気で失った。母は当時夫と共に小学校に勤め、共かせぎをしていたのであるが、まだ母の腹の中にいた私と、二つ年上の兄を残して夫に先立たれたわけ、思わぬ不幸に見舞われたのである。母は若かったから随分再婚を勧められたようであったが、子どもが小さいので連れ子をするのは可哀相だといって応じなかったそうである。今にして思えば本当に有り難い事であった。

二人の子どもをかかえての学校勤めはまだ小さい頃は子守をたのみ、みてもらっていたが少し大きくなり小学校に上がるようになると、友達もでき、母が学校から帰るまで遊んで時間を過ごすこともあった。

そんな時のことであるが、私が兄や友達と家の近所においてあった馬車の

荷台に上がったたり下りたりして騒いで遊んでいたら、馬車に立てかけてあった大きなかじ棒が、突然倒れかかり私の頭を直撃した。私はその瞬間、大きな衝撃と激痛を感じたが、すぐ気を失ってしまった。あとで聞けば、母は子ども達の知らせにびっくりして顔色を変え物凄いい形相で、ぐったりした私を抱きかかえ町の医院に駆けこんだそうである。そして「この子はもう駄目だろうと思った」と漏らしていたようである。このことは何十年経った今でもまだありありと私の記憶に残っている。母は二人の子どもの将来を考えればやはり安定した家庭がほしいと思っていたように、縁あって勤められるままに再婚して、この大代に住むことになった。ところが、新しい父は病弱であったため、僅か六年で死別するのである。母はよくよく夫に縁のない人であった。二人の子どものため、逆境に耐え、慣れない農業などしながらよく頑張った。考えてみれば戦争の不幸な時代も含めた母の一生は、正に苦難の連続だった。

私は、この年になってもまだ農業に

精出しているが、これも母の感化によるところ大であると思っている。私はこうした母の後ろ姿に思いを馳せながら、今後少しでも充実した余生を送りたいと願っている。



「旬を求めて」

関西高山会会長 田辺正義

料理研究家

その八「唐辛子」

唐辛子の原産地は中南米、メキシコ辺りといわれています。アジアの食文化に欠かせない食材ですが、そのルーツは意外にも南米大陸にあったのです。保存技術のなかった頃のヨーロッパで肉を美味しく食べるための香辛料、「胡椒」は同じ目方の銀と等価格で取り引きされるほどの貴重品でした。それを求めて、ヨーロッパの冒険者達は大航海に出発し、新大陸を発見するこ

とになります。そしてかの地で彼らが発見したのが、原住民によって栽培されていたジャガイモやトマト、そして唐辛子でした。

それらの食材はコロンブスによってヨーロッパに持ち帰られ、後に南蛮船でアジアへと運ばれると、あつという間にアジア各地へ伝播していききました。日本に唐辛子が到来したのは、種子島に鉄砲が伝わる前年、天文十一年（一五四二年）のことです。

唐辛子は煙草とともに、人類史上極めて短期間に世界へ広まった作物です。胡椒の原産地は南インドですから、南蛮船の道すがら、唐辛子は胡椒とすれ違ふようにアジアへもたらされたといえます。そしてそれらの地で辛い料理が作り出されました。インド、ジャワ、タイ料理の誕生です。日本の隣の韓国は、日本から唐辛子が伝わったものです。

唐辛子はその国の文化と相まって特徴ある伝統の味を創作したのです。なかでもずっと独立を保ち、独自の文化を育んできた韓国、タイ国の料理は傑出していきます。同じ体制が続くと文化も成熟し、料理は発達するものです。そのタイ料理の特徴をひとことで表現すれば、酸っぱさと辛さの絶妙のコンビネーション。これがタイ料理の味

の秘密が隠されているようです。特にタイでは醤油のごとく使うナン・プラというものがあります。ナン・プラとは魚醤のことで、魚貝類に塩を加え貯蔵し、熱成させた日本のシヨツツルのような調味料です。

ところがこのナン・プラに入っている唐辛子には要注意です。指先ほどに小さく形が似ていることからネズミの糞と呼ばれ、言語に絶する辛さなのです。口の中が焼けるように水洗いしても容易に元には戻りません。私もよくタイ国に出張するたびにレストランで食事中これを経験し往生しました。

ところがタイ人はこの激辛唐辛子をもなげにかじります。そうしなければタイ料理の醍醐味をわかったことにはならないというのですが……。

また韓国では、タイ国と違って唐辛子の種類が多くあります。料理によって使いわけしています。特にキムチなどに使用されています。唐辛子は、甘さのある唐辛子がキムチを美味しくします。

さて唐辛子に関しては、若い女性に耳よりな話があります。唐辛子の辛味

成分には体の脂質を燃やす働きがあるのです。その成分カプサイシン中枢神経を介して副腎髓質ホルモンを放出させ、エネルギー代謝を促進させるらしいです。韓国女性・タイ女性はじつにスマートなのは、唐辛子のお陰だったのですね。

しかしカプサイシンの純品は皮膚につけると火傷するほどで、研究室では劇薬並みの扱いをしているそうです。

「魅惑の還曆リサイタル」

関西高山会事務局長 中本 弘

五月十八日、大阪ザ・シンフォニーホールで満席の客の前で、田中公道氏のリサイタルがアンコールの拍手の中で盛況のもとに終了した。

私はオペラの歌曲については素人であるが印象に残ったことを次の三点にまとめた。

先ず第一点は、公道氏の全身から湧きでる高い透き通った声に魅了された。四年前に同じ会場で、その声に触れたが、その声量は何等おとろえず、還曆

を迎えられ、益々円熟味をおびられた感じがした。帰宅途中、知人とその声量で「荒城の月」を歌われたらと素人談義をした。

次に二点目は、イタリアの歌曲でしたが、魂が揺さぶられる感じで本物は私ども素人が聞いてもよい。ピアノの演奏とマッチした声が音響施設のよいホールいっぱいにこだました。ゼニのとれる声、プロとはこのことかと深く感じた。

三点目はピアノを演奏された方とのコンビネーションが、ユーモアとして映り一服の清涼剤であった。

名実ともに世界に通用する田中公道氏が関西高山会の副会長であることを誇りになりたいと思う。大代町が生んだ「宝物」として氏の更なる活躍を祈念したい。

来る七月二十七日は東京文化会館小ホールでリサイタルの予定です。



大代分団頑張っています

来る六月十五日(日)に行われる大田市消防団ポンプ操法訓練大会に参加するため、大代分団では練習が夕方から暗くなるまで続けられています。

今年の選手の方々は五・六班の

泉 朋記さん、田辺 優さん、

原田守男さん、向井 清さん

坂本静雄さんです。

二カ月間に及ぶ練習の成果を皆さんに見ていただくため、大会前の六月十二日(木)夜七時から公民館広場でご披露致します。皆さん是非お出かけ下さい。

俳句

あすなる会

大田市 原田萬里

ふる里は新樹の中に息吹きをり

もつれたる糸をほぐしつ春の暮れ

下谷 尾崎三枝子

住む人の無く夏草の締めけり

著莪の咲く裏山冷し鳥の声

下市 渡 あやこ

下校児の頭を掠めて夏燕

潮焼の身をひるがえし五月海女

椿 花田時子

短夜や昨日の疲れ未だ癒えず

あきらめたはずの鍛持つ五月かな

柿田 横手いちえ

明け易きはや朝刊の来たるらし

小手鞠の枝のたほみや小雨降る

下市 今田文字

雪柳銀山道の雨に散り

子牛無事生る沈丁薫りけり

八反田 森 信子

若き娘の季節先どり夏の服

目こぼれし筈今日は孫の女

上市 笹田サチエ

異状なし初夏の息吹きをありがたく

ペチュニアの甘い香りを窓きはに

椿 柿丸寿枝

百千鳥就学旅行へ児の発てり

遠山瓶望む病窓風光る

◆1日(日) 福祉弁当

◆2日(月) 都市交流会理事会

◆3日(火) 編集委員会

◆5日(木) J A 集落委員会

◆7日(土) あすなる句会

◆8日(日) 関西高山会総会

◆10日(火) 婦人会交通安全教室

◆12日(木) 身体障害者協会役員会

◆12日(木) ポンプ操法披露会

◆15日(日) 大田市消防ポンプ操法大会

◆15日(日) 婦人会お楽しみ会

◆17日(火) 都市交流会代議員会

◆22日(日) 連合自治会

★——★ おしらせ ★——★

◎赤ちゃん誕生おめでとう

山田 泉 朋記さん こころ

泉 三枝さん 幸輔くん

◎社協大代支部より

上飯谷 武田節代様から

香典返しにかえ金一封の御厚志を頂きました。厚く御礼申し上げます。

